



## 第4回融合フォーラム2000'in市川

### 大反響！！ しめきり迫る

内容の魅力からか、今回のフォーラムに対しては、多くの問い合わせと申し込みが事務局へ届いています。また、マスコミからの取材申し込みがすでに10社近くから来ています。さらに、雑誌社や新聞社からは「事前に開催の案内を掲載させてほしい。」というものや、NHK「おはようニッポン」を始めとして、「事前に秋津を取材し、それと連動して紹介したい。」といった番組企画(案)に関わるものまで来ています。さらに、場合によっては「文部省内での記者クラブ発表」も行われるかもしれないという話もでてきます。

そのような訳で、申し込みが一杯になり、会員であっても当日の受付ではお断りをするという事態も起こりうる懸念が出てきました。どうぞ、早めの申し込みをお願いします。

テーマ 「21世紀の教育創造、その具体策は今！」  
日時 2000年8月18日(金)13:00～19日(土)12:00  
場所 千葉県市川市「グランドホテル」  
内容 (決定)

#### (一日目)8月18日(金)

会長あいさつ 13:00～13:15

秋津の活動ビデオをもとに、学社融合の限りない発展の可能性を述べます。

基調講演 13:15～15:00

演題「学社融合が切り拓く無限の可能性」

講師 文部省大臣官房政策課長 寺脇研氏

分科会 15:45～17:45

#### A「合校構想(学働遊合)と学社融合の接点」

21世紀は、経済界はどんな人材を欲しているのか。偏差値競争の「出口」は、どう考え改革したいのか。経済界からの教育創造のアイデアから学びましょう。

提言者 (社)経済同友会副理事 太田篤氏

コーディネータ 秋津コミュニティ 種田 祝次さん

#### B「学社融合教育のプログラムづくり」

全国に広がりを見せている学社融合教育の事例検討を、先進市である鹿沼市の具体例をたたき台に、どこでもできる「学社融合」での教育改革のプログラム作りをしましょう。

提言者 栃木県鹿沼市教育委員会 越田幸洋氏

コーディネータ 宮城県築館町立玉沢小学校教頭 野澤 令照さん

#### C「地域ですすめる子ども外国語学習」

どうして「民間に外国語教育の協力をお願いするの?」「英語だけなの?」。英語圏文化の持つ「国際理解学習」の一側面を、21世紀の地球規模から考えましょう。

提言者 NPO認可法人;教育支援協会代表理事 吉田博彦氏

コーディネータ 千葉大学教育学部助教授 竹内 裕一さん

#### D「市川市コミュニティ施策と学社融合」

中学校区を一エリアとして行政と市民参画で様々な教育力を発揮するナーチャリングコミュニティ事業。「その内容は?」「お金は?」「参加者に負担感は?」先進実践を学びつつ「明日の我が町」を考えましょう。

**提言者 市川市教育委員会 押田敏郎**

コーディネータ 筑波大学体育科学系教授 八代 勉さん

**事例発表および資料提供**（「屋台」のようなワークショップ形式で） 17:45～21:00

発表可能な実践事例をお持ちの方、活動の課題を会員からアドバイス受けたい方、その他「この際何かをやって、会員と仲良くなるう」というノリノリの方の時間です。夜を徹して(時間無制限)の交流も可能です。また、「発表はちょっと」という方は資料提供だけでも結構です。

(資料は**300部** **前回の会報で、100部と連絡しましたが訂正させていただきます**)

どなたでも参加できますので、ふるってご応募ください。

現在までに発表・資料提供の連絡があった方は、

ビオトープ関連

市川青年会議所の活動

秋津菌コーナー

鹿沼市の融合教育カリキュラム

宮城県玉沢小の環境教育とインターネットの実践

新潟県市振小学校のPTAと漁業協同組合の実践

サンシャインクラブの活動

NPO法人「KISS」のインターネットを利用した市民活動支援

文部省コーナー(教育助成局の学校開放施策ほか) 予定

他にも、多彩な活動事例の紹介があります。

**懇親会(夕食を含めて)**

上記の会員発表と抱き合わせて、楽しく進めます。仲間作りをしながら交流を深めましょう。おらが町の名産品を持ち寄っての「セリ市」を行います。地元の「名(迷)産品」があればご提供ください。

**(二日目)8月19日(土)**

**パネルディスカッション**

一日目の分科会での討議内容の紹介を兼ねて、各領域からの実践と学社融合による教育創造の可能性を探ります。

文部省生涯学習局生涯学習企画官 嶋倉剛氏 (経歴は、略します)

文部省初等中等教育局小学校課教育課程 中川憲行氏 (経歴は略します)

(財)経済同友会副理事 太田篤氏

「学校構想」や「学働遊合」など、経済同友会教育委員会の提言をまとめたときに中核になった方です。

日本青年会議所 '99年度会頭 松山政司氏

昨年、日本青年会議所会頭の時、会頭方針のひとつとして「心の教育」を唱え、地域の先生づくり運動を全国的に展開しました。

市川市教育委員会教育長 最首輝夫氏

市川市で20年以上にわたって続いている「コミュニティスクール運動」を教師として実践したあと、教育長就任後は「ナーチャリングコミュニティ構想」を提案し、現在は、中学校区ごとの地域活動が実践されています。

融合研より(コーディネータ) 副会長 岸裕司

**地域ぐるみの「子育てフォーラム」 13:00～15:00**

融合フォーラムの終了後に、このフォーラムを役員および屋台コーナー等でバックアップ

してくれている市川青年会議所主催の「地域ぐるみ子育てフォーラム」が、同じ場所で開催されます。パネルディスカッションの参加者は、

- ・松木安太郎氏(サッカー・スポーツ解説者。ヴェルディ川崎・セレッソ大阪 元監督。市川市に2歳より在住)
- ・千葉光行氏(市川市長。平成9年より、市川市長)
- ・松山政司氏('99年度日本青年会議所会頭。

どうぞ、時間の許す方は、そのまま残って参加してみたいかがでしょうか。

主催 学校と地域の融合教育研究会

後援 市川市教育委員会 (社)市川市青年会議所 (社)日本青年会議所  
まちワーク研 IPA日本支部 手をつなぐNPOの会「千葉」  
朝日新聞社 読売新聞社 毎日新聞千葉支局 千葉日報社 日本教育  
新聞社 (社)教育支援協会 (社)農山漁村文化協会

参加費 A(二日分の参加費+夕食・懇親会費+朝食・宿泊費) 15,500円  
B(二日分の参加費+夕食・懇親会費) 8,000円  
C(参加費のみ) 3,000円

## 「第4回融合フォーラム2000'in市川」参加申し込み

氏名 \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

1~6のすべての( )内に をつけてください。

- 1.参加します(全日程・一日目のみ・二日目のみ)
- 2.事例発表・懇親会には(参加します・参加しません)
- 3.事例発表を(します・しません)  
テーマ

- 
- 4.資料提供を(します・しません)
  - 5.名産品の「セリ市」に品物を(提供します・提供しません)
  - 6.宿泊を(希望します・希望しません)

その他連絡事項がありましたらお書きください。

申し込み先 **学校と地域の融合教育研究会事務局(会費は、当日の受付で)**  
FAX 043-489-7809 Eメール [miyazaki@jb3.so-net.ne.jp](mailto:miyazaki@jb3.so-net.ne.jp)

「市川グランドホテル」へのご案内  
東京駅から JR 総武快速で市川駅まで20分  
市川駅北口より徒歩3分です。